

## 発 言 通 告 書 < 総括表 >

平成16年 第4回 定例会 一般質問

	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	中村議員	石川区政の4年間の一般的評価について	<p>石川区長への7つの苦言をどう受け止めますか          挨拶が長い セッカチである 仕事が趣味である 変化のスピードが早過ぎる 職員の中に忙し過ぎるという不満の声がある トップダウンが多い 区の単独行動が目立つ</p> <p>石川区長に対する、7つの好評をどう考えますか          指導力と先見性がある 透明性・公開性が高まった 区の財政危機を救った 区民の目線で行政を考えるようになった 基礎的自治体の主体性を重視した 抽象性を排除し、具体的に物事を考える 民間のパワーを誘導した</p>	区長
2	嶋崎議員	次世代育成支援行動計画について	<p>1. 発達障害をもつ幼児・児童をどう支援していくのか？そしてどのような課題があり、どのような手順で進めていくのか。</p> <p>2. 国や東京都でも、法改正を含む特別支援教育への移行準備を進めているが、区としてはどう考えている。</p>	区長並びに関係理事者
3	小枝議員	公教育のあり方全般について	<p>1. 学校選択が始まる中で、子どもや保護者の迷いは大きい。子どもたちの目線に立った時、どんな希望をもち、どんな将来像を持つ子どもが、中等教育学校に適しているのか、在来型2校に適していると考えなのか、教育委員会の考え方をお聞きしたい。</p> <p>2. 九段中等教育学校の教授法について          いわゆる斉藤メソッドの採用により、エリート養成の色彩が色濃くなるが、適応できない子ども(おちこぼれる子)への対処は、どういった点から斉藤教授をジェネラルマネージャーに起用されたのか。          保護者との議論、「子ども評議会」での議論はされているのか。          クラブ活動や理数系進学者への対応策が弱い。又、途中でやり直しや選び直しもできるカリキュラムづくりなどは検討されているのか。</p> <p>3. 在来型中学校及び小学校の充実について          学校全体が、ゆとりとエネルギーを保てるよう、30人程度の少人数学級を実現し、個別指導の行き届いた学校をつくっていただきたいがいかがか。</p> <p>4. 神田地区におけるものづくり伝承館など拠点づくりの検討は、</p>	区長、教育長、関係理事者
4	飯島議員	<p>高齢者が住み続けるための住宅確保について</p> <p>次世代育成支援について</p>	<p>高齢者住宅の建設について</p> <p>「定住支援福祉家賃助成制度」の拡充について</p> <p>バリアフリー化が困難な持ち家に住む高齢者について</p> <p>区行動計画について</p> <p>「利用者負担のあり方」について</p> <p>「子育てしやすい雇用環境を整える責務」について</p> <p>行動計画推進のための体制について</p> <p>こどもの医療費助成制度の拡充について</p>	区長並びに関係理事者
5	木村議員	<p>大手町地区の再開発について</p> <p>中等教育学校について</p> <p>契約問題</p>	<p>事業の中身、すすめ方、区のかかわり方等について質問。</p> <p>齊藤孝教授の二つの講演(一教員を対象、一橋中の道徳)に関連して、その位置づけ、内容等について教育長と区長に質問</p> <p>3定での決算審議をふまえて、契約のあり方についていくつかの提案をおこなう</p>	区長、教育長、関係理事者
6	大串議員	財政白書のその後	<p>(1)目標として掲げた「強い財政」はどこまで達成できたのか。</p> <p>(2)バランスシートとコスト計算書からわかることは何か。</p> <p>(3)現状での課題と今後の具体策について(提案も含めて)</p>	区長並びに関係理事者
7	小林やすお議員	<p>練成・今川の避難場所指定について</p> <p>今川・練成の地域利用、スポーツ開放について</p>	<p>17年度以降も避難場所として使えるのか</p> <p>その管理運営について</p> <p>統合後の今川・練成の校舎開放について</p> <p>開放する期間と管理運営は</p>	区長並びに関係理事者